

第 1 号議案：2006 年度活動報告

教育セミナー

講演会「新入社員のための人間中心設計」

開催日：2006年8月3日

開催場所：キャンパス・イノベーションセンター

参加人数：37名

〔講師〕

- ・郷 健太郎氏（山梨大学）
「人間中心設計の基礎」
- ・伊藤 泰久氏（株式会社 U'eyes Design）
「新入社員のための Usability 評価・入門編」



講演会「人間中心設計のデザイン事例」

開催日：2006年12月12日

開催場所：キャンパス・イノベーションセンター

参加人数：37名

〔講師〕

- ・和井田 理科氏（日本ビクター株式会社 技術開発本部 コア技術開発センター）
「人間中心設計促進のためのユーザビリティ定量評価」
- ・山崎 和彦氏（日本アイ・ビー・エム株式会社 ユーザエクスペリエンス・デザインセンター 部長）
「人間中心設計促進のためのペルソナ手法とデザイン事例」

講演会「人間中心設計のデザイン事例」

開催日：2007年1月26日

開催場所：メビック扇町（大阪）

参加人数：37名

〔講師〕

- ・山岡 俊樹氏（和歌山大学）
「HCD の紹介」
- ・寺島 正之氏（松下電工株式会社）
「ユニバーサルデザインとひとにやさしいすまいづくり」
- ・鈴木 恭一氏（シャープ株式会社）
「シャープにおけるユーザーインターフェースの考え方と事例」



講演会・講習会

HCD-Net「フォーラム 2006～人間中心設計による産業界の体質

開催日：2006年6月2日

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

参加人数：160名

〔概要〕

人の暮らしを豊かにし、五感に響く生活や安心できる社会の実現といった観点に寄与する「ビッグ・ユーザビリティ」の話題をテーマとして、人間中心設計（HCD）のノウハウが商品の競争力を高める取り組み方について、今後の指針を提示した行政、人間中心のデザインを推進する企業、および情報デザイン、ユーザビリティの論客を交えたパネルディスカッションを展開した。

〔講演者及びパネリスト〕

- ・畑山 一郎 氏（日産自動車株式会社デザイン本部 グローバル・デザイン・マネジメント部 主管）
- ・奥田 充一 氏（シャープ株式会社 オンリーワン商品企画推進本部 総合デザインセンター 所長）
- ・須永 剛司 氏（多摩美術大学 情報デザイン学科 教授）
- ・黒須 正明 氏（独立行政法人メディア教育開発センター研究開発部 教授）



HIS シンポジウム 2006・講習会

開催日：2006年9月25日

開催場所：倉敷アイビースクエア

参加人数：39名



【講師】

- ・ 鱗原 晴彦氏 (株式会社 U'eyes Design)
「毎日の設計現場に有効な人間中心設計のコツ」
- ・ 小川 俊二氏 (有限会社カイデザイン)
「製品デザインとヒューマンインタフェース」
- ・ 松原 幸行氏 (キヤノン株式会社)
「ガイドラインとそれを基にしたチェックリストの活用による製品ユーザビリティのマネージメント」

展示会

組込みシステム開発技術展 (ESEC)

開催日：2006年6月28日～6月30日

開催場所：東京ビックサイト

【概要】

組込みシステム開発技術展 (ESEC) にセミナー、展示両面で参加した。

【セミナー】「利用品質を向上するユーザビリティ技術と適用事例」

- ・ 青木 隆氏 (株式会社デンソー ボデー機器事業部室長)
「自動車のコックピット開発における HCD の効果と課題」
- ・ 鱗原 晴彦氏 (株式会社 U'eyes Design 代表取締役)
「こうすれば利用品質は向上する～HCD 導入ステップと手法」

【展示ブース】

書籍 (HCD-Net 関係者による執筆書物) に対応した紹介ポスターを併用し、HCD-Net の活動を対外的にアピールした。

Embedded Technology2006 (組込み総合技術展)

開催日：2006年11月15日～11月17日

開催場所：パシフィコ横浜

【概要】

Embedded Technology2006 (組込み総合技術展) カンファレンス、展示両面で参加した。

【カンファレンス】「組込みソフトウェアにおけるユーザビリティの効果と事例」

- ・ 大野克己氏 (独立行政法人情報処理推進機構 ソフトウェア・エンジニアリング・センター)
「組込みシステムの利用品質向上に向けて、HCD への期待」
- ・ 辛島光彦氏 (東海大学 電子情報学部 経営システム工学科 助教授)
「組込みソフトウェアにおけるユーザビリティとは何か？」
- ・ 鈴木邦和氏 (沖電気工業株式会社 研究開発部 ヒューマンインターフェースラボラトリ)
「組込みソフトウェアにおけるユーザビリティの実例—1 沖電気のアプローチ」
- ・ 倉持淳子氏 (シャープ株式会社オンリーワン商品企画推進本部 総合デザインセンターソフトデザイン)
「組込みソフトウェアにおけるユーザビリティの実例—2 使ってみたくなるインターフェースとは？ユーザ行動観察と開発事例」
- ・ 井部栄仁氏 (パイオニアデザイン株式会社 プロダクトデザイン部/1スタジオ プロデューサー)
「組込みソフトウェアにおけるユーザビリティの実例—3」

【展示ブース】

専門書籍を展示し、HCD-Net の活動について説明をした。



イベント・その他

2006 年度通常総会

開催日：2006 年 6 月 2 日

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

参加人数：54 名

〔概要〕

報告事項：2005 年度活動・会計報告

決議事項：2006 年度活動計画・2006 年度予算



ヒューマンインタフェースのつどい

開催日：2006 年 9 月 25 日

開催場所：倉敷アイビースクエア内パブリックバー「赤煉瓦」

参加人数：50 名

〔概要〕

ヒューマンインタフェースや HCD に関心の高い人に多く集まってもらい、今後の HCD-Net のイベント等を紹介した。予想以上に多くの方々が参加してくださり、ユーザビリティの最新動向の情報交換、HCD プロセスの導入実施状況などについて意見交換を行った。

Usability Day 2006

開催日：2006 年 11 月 16 日

開催場所：カプリチオーザ 横浜ランドマークプラザ店

参加人数：35 名

〔概要〕

World Usability Day にあわせて、HCD-Net 主催で人間中心設計を世の中に普及させることを目的として、昨年より開催しているイベントである。今年の HCD-Net Usability Day 2006 では、人間中心設計の Value をテーマに、メッセージの交換と懇親会を開催した。

経済産業省 生活文化産業対策調査「UD 指標化・性能表示調査委員会」への参画

期間：2006 年 9 月～2007 年 3 月

開催回数：4 回

〔概要〕

経済産業省では、安全安心に快適な暮らしの実現を目指した製品・設備の普及を推進すると共に、ユニバーサルデザイン（以下「UD」）の普及も重要と考えている。現在、統一的な UD の基準が存在せず、UD 製品は各社の考えに基づき設計・製造されているのが現状である。本調査委員会は UD 有識者が国内における UD の活動実例の調査と UD の指標化・性能表示の論点整理を目的として設置された。HCD-Net より鱗原晴彦理事長が委員として、又、黒須正明氏、早川誠二氏、小林正氏がオブザーバーとして参加した。

【検討結果】（「平成18年度 生活文化産業対策調査 ユニバーサルデザイン製品の指標化・性能表示に関する調査報告書」より抜粋）

- ・ UD は全ての人を対象にして、生活・活動しやすい環境づくりを行うものであり、人権の尊重や尊厳の維持につながるものである。
- ・ UD 定義や評価指標、UD ラベリングの議論は、継続して検討していくことが必要である。

「ソフトウェア技術者のためのユーザビリティ工学講習会」への協力

期間：2007年1月11日～14日（4日間）

開催場所：小樽商科大学 札幌サテライト 及び 小樽商科大学 ユーザビリティラボ

〔概要〕

文部科学省 知的クラスター創成事業「札幌 IT カロツェリアの創成」構想の一部である「ユーザビリティ・ソリューション研究開発」プロジェクトによる「ソフトウェア技術者のためのユーザビリティ工学講習会」の実施に協力した。HCD-Net より、鱗原晴彦氏、平沢尚毅氏、小川俊二氏、高橋賢一氏、郷健太郎氏が講師として参加した。

プロジェクト

地方自治体 Web サイト ユーザビリティ評価（引越情報部門）

主催：HCD-Net 規格・認定事業部

概要：人間中心設計プロセスの重要性を Web 開発者に伝える目的で地方自治体 Web サイトのユーザビリティ評価（引越情報部門）を行った。ワークショップを開催して受講した 30 名の参加者が第一次審査員となり、専門家による最終審査を経て、人口 12 万人以上の 305 地方自治体のサイトの中から、利用者にとってより使いやすく便利なホームページを 7 サイト選定した。結果は株式会社三菱総合研究所が発行している「自治体チャンネル+ 2月号」と「自治体チャンネル+ 3月号」に掲載された。

7 つの優秀サイトは下記の通りです。

最優秀サイト：東京都品川区
第 2 位：東京都練馬区
第 3 位：神奈川県川崎市麻生区
優秀サイト：東京都港区
宮城県仙台市宮城野区
東京都八王子市
茨城県ひたちなか市



ワークショップの様子

地方自治体 Web サイト ユーザビリティ評価の結果報告及び表彰式

日時：2007 年 4 月 13 日（金）

場所：キャンパス・イノベーションセンター

参加者：70 名

【概要】

優秀サイトが選ばれるまでのプロセスを説明し、優秀サイトの品川区、練馬区、川崎市麻生区には表彰状を贈呈、第一次審査員の方々に修了証を授与した。又、各行政の担当者からホームページ作成のプロセスについて説明をして頂いた。



自治体チャンネル+への執筆

担当：早川 誠二氏（HCD-Net 理事・株式会社リコー）

鱗原 晴彦氏（HCD-Net 理事長・株式会社 U'eyes Design）

篠原 稔和氏（HCD-Net 評議委員 ソシオメディア株式会社）

相沢 直人氏（小樽商科大学 平沢尚毅（HCD-Net 副理事長）研究室 STOAT）

【記事情報】

「地方自治体 Web サイト ユーザビリティ評価（引越し情報部門）

2006 年度優秀サイト発表！トップは東京都品川区」

自治体チャンネル+ 2月号 FEBRUARY. 2007-NO. 94 pp. 14-19

「地方自治体 Web サイト ユーザビリティ評価（引越し情報部門）

2006 年度優秀サイト開発プロセスに学ぶ」

自治体チャンネル+ 3月号 MARCH. 2007-NO. 95 pp. 16-19

